



学校だより

一人一人が主人公

令和5年9月22日
豊岡市立但東中学校
9月号

【学校教育目標：ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子】

体育祭 ～自分たちの本気を出しつくせ～

コロナウイルス感染拡大防止に係る規制が緩和され、時代はwithコロナへと移行し始めました。

今年度の体育祭は、多くの保護者や地域の皆様をお迎えして開催する運びとなり、新たな体育祭としての形を模索する最初の年となりました。加えて今年の夏の暑さは例年に比べて一段と厳しく、運動には細心の注意が必要となりました。

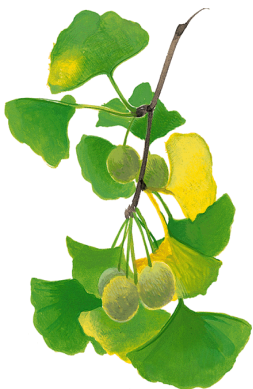
体育祭のプログラムや練習については、子どもたちの健康を第一に考え、無理のない計画を立てて実施しました。幸いにも体育祭の練習開始とともに暑さも和らぎ、さらに体育祭本番では、涼しい風と秋雲の見られる絶好の体育祭日和となりました。これも子どもたちの日ごろの行いの賜物と感謝しております。

今年の体育祭の生徒会スローガンは「本気（マジ）～自分たちの本気（ほんき）を出しつくせ～」でした。これまでのコロナ禍による活動制限によって、全力で取り組める機会が少なかった子どもたちにとって、この体育祭は本気を出して全力で活動できる絶好の機会となりました。このスローガンの言葉どおり、運動を楽しむ子どもたちの姿が見られたことは、わたくしたち教職員にとって何よりの励みとなりました。



体育祭の最後の講評にて、私は子どもたちにこんな話をしました。

「君たちが競技をしたり、互いに声援を掛け合ったりして、本当に楽しんでいる姿を見ながら、私は体育祭って何だろうと考えていました。体育祭は走ったり、投げたり、跳んだり、引っ張ったりと、やっていること自体は単純ですよね。なのに、なぜこんなにも楽しいのでしょうか。」



それはスローガンにあるとおり、君たちが本気で体育祭に取り組んだからです。そしてもう一つは、この場にいる観覧していただいた保護者や地域の皆さん、そして君たち自身が、共に活動することを楽しめる「豊かな心」を持っているからなのだと思います。これこそが私たちの求める「生きる力」であり、体育祭とはそれを実現させる場なのだと実感しました。今日は本当にいい体育祭でした。ここにいる地域の皆様や保護者の皆様に感謝するとともに、生徒の皆さんの健闘を讃えて講評といたします。本日は本当にありがとうございました。」

※ 9・10月の月中行事は、<http://www2.city.toyooka.hyogo.jp/edu/school/tantou-jhs/>をご覧ください。